

令和 8 年度 彩の国あんしんセーフティネット事業

担当相談員養成研修

実施日	1日目	4月22日(水)～5月29日(金)動画配信 / 4月22日(水)Zoom
	2日目	5月15日(金) Zoom
	3日目	5月22日(金) 集合研修(彩の国すこやかプラザ)
対 象	新任相談員、社協担当職員	
参加者	62名 (うち修了証発行26名)	
講 師	文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島 修 氏 (2,3日目)	
内 容	1日目	《動画配信、オンライン講義》
	2日目	《オンライン講義》 【社会貢献支援員によるミニ講義】 ・第3ブロック社会貢献支援員 小川氏 【実践報告】 ・社会福祉法人相愛福祉会 蔵の町・川越 関口氏
	3日目	《集合型研修》 【講義】 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島氏 【事例検討】 ・実際の支援ケースを想定した事例をもとにグループワークを実施 【シンポジウム】 ・文京学院大学 教授 中島氏と各ブロックの社会貢献支援員による「アセスメント時の心構え」等について



中島氏による講義



シンポジウムの様子

内 容

【1日目】

セーフティネット事業の概要について(事務局説明)の動画を視聴いただき、オンラインでは、生活困窮者自立支援制度、生活保護制度、生活福祉資金貸付制度、日常生活自立支援制度、医療・年金制度、法テラスと債務整理等について各講師に講義いただきました。

【2日目】

文京学院大学 教授 中島氏より「近年の社会福祉の動向と生活困窮の状況について」ご講義いただきました。また、小川社会貢献支援員による支援の流れについての説明(ミニ講義)とセーフティ実施施設の担当相談員より支援事例の報告をいただきました。

【3日目】

文京学院大学 教授 中島氏による「CSW の機能と役割」「初回アセスメントと課題整理・支援検討の際のポイント」についてご講義いただきました。また、中島氏と各ブロックの社会貢献支援員より、「アセスメント時の心構え」についてシンポジウム形式で報告いただきました。

【中島教授からのコメント】

- ・その人の持っている力、ストレングス(強み)を見出すことが大切。本人をありのままに理解し、先入観や偏見を持たないようにすること。
- ・あんしんセーフティネット事業で重要なことは、ニーズが顕在化・見える化したタイミングを見逃さず支援すること。
- ・「個人」ではなく「個別」アセスメントをするのは、個人だけでなく周りの人々の生活もアセスメントを行う際には重要であるため。

参加者の声

【講義を聞いて】

・相談者の困りごととは何か、聞き取りをしながら整理していくことで、見えてくることがわかった。また、先入観や偏見を持たず、ありのままを見て聞いて理解していきたいと思った。支援をする際は、細かくしていきたいと思う。

・セーフティの相談は狭間の相談であることから、複合課題を併せ持つ、包括的な相談であり、地域の中で孤立することのないよう支援することも視野に、相談支援し、CSW と常に連携が必要と感じた。

【ミニ講義を聞いて】

・理解しきれていなかった具体的な支援の進め方が理解できた。支援員さんの熱量をひしひしと感じ、とても刺激を受けた。

・支援する上での注意点や、対象外となる理由などが具体的で分かりやすかった。

【実践報告を聞いて】

・支援にあたった際の、支援者の気持ちを述べてくださり想像しやすかった。

・実際の事例を用いた説明を聞いたことで、具体的なイメージを持つことができた。

【グループワークを行って】

・グループでの検討を通して、自身だけでは発見できない視点からの意見も学べたのは大変有意義であった。

・個別化の視点が重要と感じた。多角的な視点から状況をアセスメントすることも求められると感じた。支援をする際は、どんなにほかの相談者と類似した状況であってもだれ一人同じ人はいないという意識を忘れないでおきたい。